

令和8年度実施 岡山市公立学校教員採用候補者選考試験 実施要項の交付を開始しました

令和8年度実施岡山市公立学校教員採用候補者選考試験実施要項の交付を開始しました。出願期間は4月1日(水)～5月15日(金)となっています。詳しくは実施要項にてご確認ください。

1 出願期間

- ◆ 令和8年4月1日(水)～5月15日(金)

2 受験区分及び採用候補者予定数等

- ◆ 小学校(すべての枠を含む) 110名程度
- ◆ 中学校(すべての枠を含む) 55名程度
- ◆ 養護教諭 4名程度
- ◆ 栄養教諭 1名程度

3 試験の日程及び内容

- ◆ 第1次試験(教科等専門試験、個人面接、特別面接)
7月4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日)
※特別面接(対象者のみ)は、7月4日(土)に実施
- ◆ 第2次試験(集団活動、個人面接、模擬授業(模擬場面指導)・口頭試問、実技(対象者のみ))
8月8日(土)～10日(月)、15日(土)～17日(月)

4 備考

- ・その他、詳細は実施要項にてご確認ください。
- ・実施要項は、教職員課のホームページからもダウンロードできます。



【問い合わせ先】

岡山市教育委員会教職員課 高井・妹尾 直通086-803-1563 内線3839

令和8年度実施岡山市公立学校 教員採用候補者選考試験実施要項

岡山市教育委員会

－岡山市は教職を目指す
あなたを応援します－

○第1次試験

試験内容：教科等専門試験、個人面接

日 程：7月4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日)

*対象者のみ7月4日(土)に特別面接を実施

○第2次試験

試験内容：集団活動、個人面接、模擬授業(模擬場面指導)・口頭試問、
実技(対象者のみ)

日 程：8月8日(土)～10日(月)、15日(土)～17日(月)

※ 詳細はP10へ

* 出願期間 *

令和8年4月1日(水)～

令和8年5月15日(金) 午後5時まで

※ 詳細はP4へ

【問い合わせ先】

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号

岡山市教育委員会事務局学校教育部教職員課 (TEL 086-803-1563)

※岡山市教育委員会事務局学校教育部教職員課ホームページ

「岡山市 学校お仕事ナビ - 教員採用情報サイト -」 <https://www.city.okayama.jp/schoolnavi/>



目 次

1	目 的	1
2	受 験 資 格	1
3	受 験 区 分 及 び 採 用 候 補 者 予 定 数 等	1～2
4	選 考 区 分	2～4
5	出 願 手 続	4～9
6	選 考 試 験 の 日 程 ・ 内 容 及 び 会 場 等	10～11
7	選 考 方 法 等	12
8	選 考 結 果 の 通 知 ・ 情 報 提 供	12
9	採 用 ま で	13
10	そ の 他	14
11	試 験 会 場	14

岡山市の目指す教員像

「教育に対する揺るぎない情熱」 「教育の専門家としての確かな力量」 「総合的な人間力」の三つの資質能力をバランスよく兼ね備えるとともに、生涯を通して、自らの資質能力を磨き、学び続けることのできる教員

1 目 的

この選考試験は、令和9年度の岡山市公立学校教員採用候補者の選考資料とするために実施する。

2 受 験 資 格

次の(1)~(4)の要件をすべて満たす者

- (1) 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項並びに学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律第2条第8項に規定する特定性犯罪事実該当者に該当しない者。

地方公務員法第16条（欠格条項）	学校教育法第9条	学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律第2条第8項に規定する特定性犯罪事実該当者
次の各号のいずれかに該当する者は、条例で定める場合を除くほか、職員となり、又は競争試験若しくは選考を受けることができない。 ①拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者 ②当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から二年を経過しない者 ③人事委員会又は公平委員会の委員の職にあって、第六十条から第六十三条までに規定する罪を犯し、刑に処せられた者 ④日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者	次の各号のいずれかに該当する者は、校長又は教員となることができない。 ①拘禁刑以上の刑に処せられた者 ②教育職員免許法第十条第一項第二号又は第三号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から三年を経過しない者 ③教育職員免許法第十一条第一項から第三項までの規定により免許状取上げの処分を受け、三年を経過しない者 ④日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者	次の各号のいずれかに該当する者をいう。 ①特定性犯罪について拘禁刑を言い渡す裁判が確定した者（その刑の全部の執行猶予の言渡しを受けた者（当該執行猶予の言渡しが取り消された者を除く。次号において「執行猶予者」という。）を除く。）であって、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して二十年を経過しないもの ②特定性犯罪について拘禁刑を言い渡す裁判が確定した者のうち執行猶予者であって、当該裁判が確定した日から起算して十年を経過しないもの ③特定性犯罪について罰金を言い渡す裁判が確定した者であって、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して十年を経過しないもの

- (2) 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告（心神耗弱を原因とするもの以外）を受けていない者。

- (3) 受験区分に相当する教諭普通免許状所有者又は令和9年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者。

※いずれの免許状についても教員資格認定試験による取得見込みは除く。

※大学3年生等特別選考で受験する者については、出願時に大学3年生等で、令和9年度中に卒業（修了）見込みであり、出願する受験区分に相当する教諭普通免許状を令和10年3月31日までに取得見込みの者であること。
 なお、大学3年生等とは、大学または大学院の最終年次の1年前の年次に在籍している者をいう（科目等履修生は含まない）。

- (4) 60歳未満（昭和42年4月2日以降に生まれた者）

3 受 験 区 分 及 び 採 用 候 補 者 予 定 数 等

受 験 区 分		教 科	採用候補者予定数
校 種 等	〔 枠 〕		
小 学 校	-	-	110名程度
	〔 英 語 〕		〔英語枠 若干名〕
	〔 小中連携推進 〕		〔小中連携推進枠 5名程度〕
	〔特別支援教育推進〕		〔特別支援教育推進枠 若干名〕
中 学 校	-	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語	55名程度
	〔 小中連携推進 〕		〔小中連携推進枠 5名程度〕
	〔特別支援教育推進〕		〔特別支援教育推進枠 若干名〕
養護教諭	-	-	4名程度
栄養教諭	-	-	1名程度

- (1) 英語枠、小中連携推進枠、特別支援教育推進枠の採用候補者予定数は、小学校及び中学校の採用候補者予定数の内数である。
- (2) 受験区分の〔枠〕への出願については、下記の点に留意し、所有免許状に相当するいずれか一つの受験区分、教科を選択する。

受験区分の〔枠〕	必要な免許状	採用された場合	選考について
英語	○小学校教諭普通免許状 ○中学校教諭普通免許状(英語) 又は高等学校教諭普通免許状(英語)	○小学校において通常の学級等を担当しながら、英語教育を中心となって推進する役割を主に担う。必ずしも英語専科になるとは限らない。	○英語枠の採用候補者にならなかった場合でも、小学校の受験区分で選考し、採用候補者となる場合がある。
小中連携推進	○小学校教諭普通免許状 ○中学校教諭普通免許状	○受験した区分にかかわらず、1校目は小学校又は中学校のどちらかでの勤務となり、2校目は原則、異校種での勤務となる。	○小中連携推進枠の採用候補者にならなかった場合でも、小学校又は中学校の受験区分で選考し、採用候補者となる場合がある。
特別支援教育推進	○小学校 又は中学校教諭普通免許状 ○特別支援学校教諭普通免許状	○小学校又は中学校において特別支援教育を中心となって推進する役割を主に担う。ただし、通常の学級等を担当する場合もある。	○特別支援教育推進枠の採用候補者にならなかった場合でも、小学校又は中学校の受験区分で選考し、採用候補者となる場合がある。

4 選考区分

- (1) 選考区分には「一般選考」、「特別選考」及び「身体に障害のある者を対象とした選考」がある。

選考区分	第1次試験内容		
	教科等専門試験	個人面接	特別面接
一般選考	○	○	－
特別選考	① 社会人経験者特別選考	－	○
	② 岡山市元教諭特別選考	－	○
	③ 講師特別選考	－	－
	④ 理科教育推進特別選考	－	○
	⑤ 大学等推薦特別選考	－	○
	⑥ 「令和7年度実施大学3年生等特別選考」選考通過者特別選考	－	○
	⑦ 大学3年生等特別選考	○	次年度実施
身体に障害のある者を対象とした選考	出願した選考区分の試験内容で実施		

※小学校教諭及び中学校教諭を対象とした現職教諭特別選考は10月に実施する。詳しくは教職員課ホームページ掲載の「令和8年度実施 岡山市公立学校教員採用候補者選考試験実施要項【現職教諭(小学校教諭等・中学校教諭等)を対象とした特別選考】」を右に示す2次元コードより参照すること。



- (2) 本試験において特別選考の出願はP1「2 受験資格」に加えて、各特別選考の出願要件を満たすこと。ただし、特別選考を重複して申し込むことはできない。
- (3) 書類審査の結果、特別選考の対象となった者には試験の免除等の措置を行う。特別選考の対象にならなかった者は、一般選考の出願者として受け付け、試験の免除等の措置は行わない。なお、書類審査の結果については、受験票送付の際に通知する。
- (4) 選考区分の対象となる受験区分、出願要件等については、次のとおりとする。

一般選考	
対象となる区分	すべての受験区分
出願要件	○受験資格(P1「2 受験資格」参照)を満たす者。
特別選考① 社会人経験者特別選考	
対象となる区分	小学校(すべての枠を含む) 中学校(すべての枠を含む)
出願要件	○令和3年4月1日から令和8年3月31日までの間に、民間企業、官公庁(教職以外)、大学又は研究機関等の正規職員として、出願時に1か所で3年以上(休職や育児休業等の期間を除く)勤務しており、出願する受験区分(教科)に関する専門的な知識・技能や経験を有する者。

特別選考② 岡山市元教諭特別選考	
対象となる区分	すべての受験区分
出願要件	○岡山市立学校において正規任用の教諭等（副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭を指す）、養護教諭又は栄養教諭として通算3年以上の在職経験（休職や育児休業等の期間を除く）があり、教職経験のある校種等、教科に出願する者。

特別選考③ 講師特別選考	
対象となる区分	すべての受験区分
出願要件	○次の①②③の要件を全て満たす者 ①令和7年度実施岡山市公立学校教員採用候補者選考試験で、第1次試験の結果、第2次試験の受験資格を得た者のうち、令和8年度実施の試験を令和7年度実施の試験で受験した受験区分、教科と同一の受験区分及び教科で受験する者。 ② <u>令和7年度実施岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を「一般選考」もしくは「令和6年度実施大学3年生等特別選考」選考通過者特別選考』で受験した者。</u> ③令和8年度に、常勤講師等（常勤講師、養護教諭（臨時的任用）、養護助教諭、栄養教諭（臨時的任用）、実習助手、任期付短時間勤務職員を指す。）、非常勤講師又は栄養士（会計年度任用）として岡山市立の小学校・中学校・義務教育学校・高等学校又は岡山大学附属小学校・中学校で勤務（令和8年4月1日から実施要項に定める出願書類の受付期間の最終日までの間に、勤務実績がある場合をいう。）し、出願時に所属長の証明を得た者。なお、令和8年度に常勤講師等、非常勤講師又は栄養士（会計年度任用）として勤務している学校の校種・職種及び教科（科目）等は問わないものとする。

特別選考④ 理科教育推進特別選考	
対象となる区分	小学校 小学校〔小中連携推進枠〕（中学校教諭普通免許状（理科）を所有又は取得見込みの者） 中学校の理科 中学校〔小中連携推進枠〕の理科
出願要件	○「理数系教員（コア・サイエンス・ティーチャー：CST）養成拠点構築プログラム」を修了した者（令和9年3月31日までに修了見込みの者を含む）。ただし、過去に岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考で受験した者及び岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を理科教育推進の特別選考で受験した者は除く。

特別選考⑤ 大学等推薦特別選考	
対象となる区分	小学校（すべての枠を含む） 中学校（すべての枠を含む）
出願要件	○次の①～④の要件を全て満たし、大学等が推薦する者。 ①岡山市の教員として勤務することを第一志望とし、令和9年4月1日より勤務可能な者。（ 本特別選考による採用候補者は、大学院又は教職大学院在学者及び大学院等進学予定者に対する特例（採用候補者名簿登録の有効期間の延長）の対象にはならない。 ） ②岡山市が求める教員像にふさわしい資質と能力を有し、学業成績が優秀な者。 ③出願時に、大学、大学院又は教職大学院に在籍し、令和9年3月31日までに卒業（修了）見込みである者。 ④出願した受験区分（教科）に該当する一種（専修）免許状を所有する者。 （令和9年3月31日までに当該免許状を取得見込みの者を含む。） 詳細は、教職員課ホームページ掲載の「大学等推薦特別選考実施要項」を右に示す2次元コードより確認すること。



特別選考⑥ 「令和7年度実施大学3年生等特別選考」選考通過者特別選考	
対象となる区分	小学校（すべての枠を含む） 中学校（すべての枠を含む） 養護教諭
出願要件	○令和7年度実施岡山市公立学校教員採用候補者選考試験で、大学3年生等特別選考に出願し、試験の結果、選考通過者と認められた者のうち、令和8年度実施の試験を令和7年度実施の試験で受験した受験区分（出願できる受験区分については令和7年度に送付した結果通知にて確認すること。）及び教科で受験する者。

特別選考⑦ 大学3年生等特別選考	
対象となる区分	小学校、中学校、養護教諭
出願要件	<p>○出願時に大学3年生等（大学または大学院の最終年次の1年前の年次に在籍している者をいう。なお、科目等履修生は含まない。）で、令和9年度中に卒業（修了）見込みであり、出願する受験区分に相当する教諭普通免許状を令和10年3月31日までに取得見込みの者。</p> <p>※第1次試験の教科等専門試験のみ受験可能。</p> <p>※第1次試験の教科等専門試験を選考通過した場合、令和9年度実施の第1次試験で教科等専門試験の受験が免除となる。</p>

身体に障害のある者を対象とした選考	
対象となる区分	全ての受験区分
出願要件	<p>○受験資格（P1「2 受験資格」参照）を満たしている。</p> <p>○身体障害者手帳（障害の程度が1級から6級までの者）を所有している者。</p> <p>※採用候補者予定数は若干名とする。</p> <p>※身体に障害のある者を対象とした選考において、P2～4にある特別選考の出願要件を満たす場合は、該当する特別選考で受験することができる。ただし、特別選考を重複して申し込むことはできない。</p>

5 出願手続

出願期間

令和8年4月1日(水)～令和8年5月15日(金) 午後5時まで

出願のながれ

- (1) 岡山市電子申請サービスによる申込（出願者全員） ※ 詳細はP4～7へ
- (2) 郵送または持参による書類等の提出（一般選考・大学3年生等特別選考の者を除く）
※ 詳細はP7～9へ
- (3) 申請後に必要な準備・確認 ※ 詳細はP9へ

(1) 岡山市電子申請サービスによる申込（出願者全員）

- ・原則として、「岡山市電子申請サービス」（インターネット）で行うこと。
- ※必ずパソコンを使用して電子申請を行うこと。スマートフォンやタブレット端末、携帯電話等で電子申請はできない。
- ※やむを得ない事情により、電子申請による出願ができない場合は、岡山市教育委員会事務局学校教育部教職員課（以下教職員課）まで連絡すること。（TEL：086-803-1563）

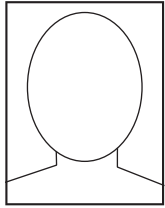
【岡山市電子申請サービス】

https://s-kantan.jp/city-okayama-okayama-u/offer/offerList_initDisplay.action

※岡山市電子申請サービスで検索。又は、教職員課のホームページからもアクセス可能。



- ・教職員課のホームページにある「電子申請マニュアル（利用者登録編）」、「電子申請マニュアル（申請編）」をダウンロードし、操作手順を確認しながら、出願すること。
- ・岡山市電子申請サービスには、入力制限があり、入力時間（約50分）を超えると破棄され、再度入力が必要となるため、教職員課ホームページから「入力準備シート」をダウンロードし、適宜活用すること。
- ・締切間際になると、岡山市電子申請サービスが混雑し、システムに繋がりにくくなるおそれがあるため、早めに出願すること。受付期間最終日の午後5時までに申請データの到着が確認できない場合は、いかなる理由があっても受け付けない。また、受付期間中であっても、システムメンテナンス等により、一時的に使用できないことがあるため注意すること。

入力事項	入力上の注意・要件
最初に選択	必ず最初に大学3年生等特別選考で出願するか否かを選択すること。 ※令和7年度実施大学3年生等特別選考で受験し、選考通過者となっている者は「いいえ」を選択すること。
選考区分	一般選考、社会人経験者特別選考、岡山市元教諭特別選考、講師特別選考、理科教育推進特別選考、大学等推薦特別選考、「令和7年度実施大学3年生等特別選考」選考通過者特別選考、大学3年生等特別選考のいずれか一つを選択すること。
受験区分	小学校、小学校〔英語枠〕、小学校〔小中連携推進枠〕、小学校〔特別支援教育推進枠〕、中学校、中学校〔小中連携推進枠〕、中学校〔特別支援教育推進枠〕、養護教諭、栄養教諭のいずれか一つを選択すること。 ※大学3年生等特別選考を選択した者は、小学校・中学校・養護教諭のいずれか一つを選択すること。
教科	中学校、中学校〔小中連携推進枠〕、中学校〔特別支援教育推進枠〕の出願者のみ選択すること。
実技「武道」の選択	保健体育の受験者のみ柔道と剣道のどちらかを選択し、入力すること。
身体に障害のある者を対象とした選考	身体に障害のある者を対象とした選考に出願する者のみチェックすること。
氏名や現住所	環境に依存しない文字（JIS第一水準漢字又はJIS第二水準漢字）で入力すること。（利用できない文字例：高、崎など）なお、ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、…）も使用できないため、算用数字（1、2、…）に置き換えること。
国籍	有する国籍を入力すること。
生年月日・年齢	生年月日は西暦で入力すること。年齢は、令和9年4月1日現在で入力すること。
写真	出願者の顔写真〔画像ファイル〕 ※以下の規格の写真（カラー）を準備すること。 ・本人のみの上半身が撮影されたもの ・申請前6か月以内に撮影されたもの ・無帽で正面を向いたもの ・背景や影がないもの ・受験時に眼鏡を着用する場合は、必ず眼鏡を着用したもの ・ JPEG又はJPG形式 データサイズは2MB以内 ・ 縦横比が縦4：横3
	 見本
電話番号	電話番号(2)は岡山市電子申請サービスに登録されている番号以外の連絡先がある者のみ入力すること。
最終学歴	各種別をリストから選択後、正式名称を入力すること。また入力する学歴は最終卒業・修了（見込）学校とし、教員免許状取得のための通信教育等は、下部の学歴・職歴・受賞歴欄に入力すること。
学歴・職歴・受賞歴	高等学校（中等教育学校）卒業以後、日付順にもれなく入力すること。職歴については、「電子申請マニュアル（申請編）」にある受験願書の完成品見本にならって、簡略に入力すること。 記入欄が不足する場合は、申込画面又は教職員課ホームページにある「職歴追加用ファイル」をダウンロードし、入力後、電子ファイルを添付すること。 （在学中のアルバイトについては入力不要）
担当状況	学校勤務経験者のみ過去5年を記入。ただし、勤務していない年は空欄のままとする。
教員免許状	・所有又は取得見込みの免許状について全て入力すること。校種等欄は、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・養護教諭・栄養教諭・盲学校・聾学校・養護学校の別を、種類欄は、専修・1種・2種の別を入力すること。 ・所有状況欄は、該当するものを選択すること。 なお、「加点に関する事項」に関わるため、加点に関わる免許状の入力漏れが無いようにすること。 ・教員免許状を6種類以上所有する（取得見込みを含む）場合は、出願校種（教科）・職種のものから優先的に入力すること。

<p>加点に関する事項</p> <p>※加点の上限は最大10点</p> <p>※大学3年生等特別選考の出願者は選択不要</p>	<p>複数免許保有者</p> <p>・下記の受験区分において、要件を満たしている者は「○」を選択すること。また、該当しない者は「-」を選択すること。</p> <table border="1" data-bbox="475 215 1430 546"> <thead> <tr> <th data-bbox="475 215 632 277">受験区分 すべての枠を含む</th> <th data-bbox="632 215 1430 277">要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="475 277 632 389">小学校</td> <td data-bbox="632 277 1430 389"> 中学校教諭普通免許状又は高等学校教諭普通免許状所有者 (1教科につき5点) 特別支援学校教諭普通免許状所有者(5点) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="475 389 632 546">中学校</td> <td data-bbox="632 389 1430 546"> 小学校教諭普通免許状所有者(5点) 出願した教科と異なる中学校教諭普通免許状又は高等学校教諭普通免許状所有者(1教科につき5点) 特別支援学校教諭普通免許状所有者(5点) </td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和9年3月31日までに加点対象となる免許状が取得できなかった場合は、採用候補者名簿への登録を取り消す場合がある。</p> <p>※入力漏れや入力誤りについては、選考時に考慮されない場合がある。</p> <p>・第1次試験の教科等専門試験に加点をする。</p>		受験区分 すべての枠を含む	要件	小学校	中学校教諭普通免許状又は高等学校教諭普通免許状所有者 (1教科につき5点) 特別支援学校教諭普通免許状所有者(5点)	中学校	小学校教諭普通免許状所有者(5点) 出願した教科と異なる中学校教諭普通免許状又は高等学校教諭普通免許状所有者(1教科につき5点) 特別支援学校教諭普通免許状所有者(5点)
	受験区分 すべての枠を含む	要件						
	小学校	中学校教諭普通免許状又は高等学校教諭普通免許状所有者 (1教科につき5点) 特別支援学校教諭普通免許状所有者(5点)						
	中学校	小学校教諭普通免許状所有者(5点) 出願した教科と異なる中学校教諭普通免許状又は高等学校教諭普通免許状所有者(1教科につき5点) 特別支援学校教諭普通免許状所有者(5点)						
<p>岡山市講師経験者</p> <p>・令和7年4月から出願時までに通算12月以上、常勤講師等(常勤講師、養護教諭(臨時的任用)、養護助教諭、栄養教諭(臨時的任用)、実習助手、任期付短時間勤務職員を指す)、非常勤講師又は栄養士(会計年度任用)として岡山市立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校又は岡山大学附属小学校・中学校に勤務している者は「○」を選択すること。また、該当しない者は「-」を選択すること。</p> <p>・第1次試験の教科等専門試験に5点の加点をする。</p>								
<p>岡山市教員養成セミナー「夢への扉」修了者</p> <p>・令和7年度実施の岡山市教員養成セミナーの全てに参加し、修了証を得た者は「○」を選択し、修了証番号(修了証の右上の数字5桁)を入力すること。また、該当しない者は「-」を選択すること。</p> <p>・第1次試験の教科等専門試験に5点の加点をする。</p>								
<p>考慮する事項</p>	<p>司書教諭</p>	<p>所有または取得見込みの者は選択すること。</p>						
	<p>英語の資格所有</p>	<p>該当者のみ入力すること。「<表1>各資格・検定試験の基準(英語の資格所有者)」に示す基準を満たしている資格・検定試験について入力すること。</p>						
	<p>複数免許</p>	<p>下記の内容で1つでも該当する者(加点の有無は問わない)は入力すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校教諭普通免許状を所有する者。(取得見込みの者を含む) ・中学校教諭普通免許状を複数所有する者。(取得見込みの者を含む) ・小学校と中学校の両方の教諭普通免許状を所有する者。(取得見込みの者を含む) 						
	<p>正規教員歴</p>	<p>国公立学校の教諭等、養護教諭、栄養教諭として勤務経験のある者は入力すること。(出願時に勤務している者を含む。)直近の勤務校1校についてのみ、学校名、職名、在職期間を入力すること。</p>						
	<p>ボランティア活動</p>	<p>学校支援ボランティア・部活動・ボランティア活動・JICAボランティア事業への参加等の内容や実績がある者は団体名、活動期間、活動内容を入力すること。(岡山市外の活動も含む)</p>						
	<p>スポーツ</p>	<p>下記の内容で1つでも該当する者は、大会に出場した年月日、競技名・大会名等、成績(記録)を入力すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際レベルの大会(オリンピック、世界選手権大会、アジア大会、ユニバーシアード大会、パラリンピック等)に日本代表として出場した者。 ・全国大会(国民スポーツ大会、国民体育大会、日本選手権大会、全日本社会人選手権大会、全日本学生選手権大会及びこれらに準ずる全国レベルの大会)に選手として出場した者。 <p>※ただし、いずれの場合も団体種目は出場選手登録された者に限る。</p>						
<p>指導実績</p>	<p>スポーツの分野、音楽・美術等の芸術の分野において、優秀な指導実績のある者は入力すること。特に優秀な指導実績を収めたもの1つについてのみ、実績を収めた年月日、競技名・コンクール名等、成績(記録)を入力すること。</p>							

出 願 理 由	具体的に入力すること。(800字程度)
資格・特技	英語の資格、部活動の記録等、特に秀でたもののみ入力すること。(100字程度)
刑罰・処分歴	有・無のどちらかを必ず選択すること。また、「有」の場合は、判決確定年月日又は処分年月日とその内容を入力すること。 なお、刑罰は、罰金刑以上(道路交通法違反を除く)のものとする。また、処分歴は、懲戒処分(例:わいせつ行為、体罰、飲酒運転及びセクハラ等)の内容を入力すること。 懲戒処分等の記載事項が3項目以上ある場合は、直近のものから時系列順に2項目まで入力すること。
出願者記名	必ず出願者本人が入力年月日・氏名を入力すること。
受験上の配慮事項	身体等の事情により、受験に際して 配慮を必要とする場合 には、その旨を 必ず 入力すること。
個人情報を利用することへの同意について	岡山市での講師等の依頼のため、受験願書に記載されている個人情報を利用することについて、該当するものをチェックすること。

〈表1〉各資格・検定試験の基準(英語の資格所有者)

受験区分	ケンブリッジ 英語検定	実用英語 技能検定	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEICBridge L&R/S&W	TOEIC L&R/S&W
小 学 校	140以上	2級以上	960以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	170以上	1150以上
中 学 校	160以上	準1級以上	1190以上	5.5以上	309以上	600以上	72以上	-	1560以上

- ※GTECについては、問題タイプがCBT、Advanced、Basic、Coreの基準である。Academic、Businessについては、教職員課へ問い合わせること。
- ※TOEIC L&R/S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にしたものとTOEIC L&Rのスコアを合算したスコアで基準を満たすこと。
- ※有効期限がある認定証等は受験願書「出願者記名欄」の入力年月日の時点で有効であること。有効期限が過ぎたものは不可とする。

(2) 郵送または持参による書類等の提出(一般選考・大学3年生等特別選考の者を除く)

「特別選考」で受験する者は下記①～③の書類等を提出すること。また、「身体に障害のある者を対象とした選考」で受験する者は下記の②③の書類等を提出すること。書類を郵送する場合は、封筒の表に「岡山市教員採用試験出願書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送すること。

＜郵送先＞〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 岡山市教育委員会事務局学校教育部教職員課

①特別選考申告票(教職員課ホームページよりダウンロード)

- ・※印欄の受験番号欄には記入しないこと。
- ・「受験区分」、「教科」(該当者のみ)、「氏名」、「特別選考の種別」を記入すること。

記入欄	記入上の注意
受 験 区 分	小学校、小学校〔英語枠〕、小学校〔小中連携推進枠〕、小学校〔特別支援教育推進枠〕、中学校、中学校〔小中連携推進枠〕、中学校〔特別支援教育推進枠〕、養護教諭、栄養教諭のいずれかを記入すること。
教 科	中学校、中学校〔小中連携推進枠〕、中学校〔特別支援教育推進枠〕の出願者のみ、受験願書に記入した教科と同じ教科を記入すること。
特別選考の種別	出願する特別選考に「○」を記入すること。

- ・該当する特別選考の欄に記入をする。記入の仕方はP8～9の「書類等確認欄」で確認すること。

②返信用封筒

- ・長形3号(120mm×235mm)の大きさのワンタッチシール封筒
- ・郵便番号、送付先住所、宛名(最後に必ず「様」を付ける。)を明記すること。
- ・「簡易書留」と朱書きし、**460円分の切手**を貼ること。
- ・送付先住所は、令和8年7月30日(木)以降に、第1次試験の結果通知を**必ず受け取ることができる住所**とすること。

③その他書類

選考によっては在職証明書等が必要な場合がある。P8～9の「書類等確認欄」で確認すること。

書類等確認欄

① 社会人経験者特別選考

特別選考申告票

①勤務状況については、勤務先名、業種、職名、期間、年月数を記入すること。

②休業・休職期間については、期間、年月数、事由を記入すること。

③年月数を記入する際は、1月の中で15日以上任用期間があれば1月と数える。15日未満の場合は切り捨てて記入する。

(例) ・令和4年4月1日～令和6年1月20日 → 1年10月

・令和3年4月1日～令和4年3月10日 → 11月

④合計年月数を記入する場合、12月を1年としてカウントする。

返信用封筒（詳細はP7「(2) ②返信用封筒」参照）

在職証明書

令和3年4月1日から令和8年3月31日までの間に、民間企業、官公庁（教職以外）、大学又は研究機関等の正規職員として、出願時に1か所で3年以上勤務したことが証明できるもの（1社のみでよい）を提出する。教職員課ホームページよりダウンロードし、事業主に作成を依頼する。提出受付期間内に提出が困難な場合は教職員課（TEL086-803-1563）に相談すること。

② 岡山市元教諭特別選考

特別選考申告票

記入方法は上記「①社会人経験者特別選考」と同様

返信用封筒（詳細はP7「(2) ②返信用封筒」参照）

③ 講師特別選考

特別選考申告票

①氏名及び令和8年度（出願時）の勤務状況について記入すること。

②勤務状況については、勤務校名、任用（予定）期間（辞令に記された年月日）及び任用種別（常勤講師、養護教諭（臨時的任用）、養護助教諭、栄養教諭（臨時的任用）、実習助手、任期付短時間勤務職員、非常勤講師又は栄養士（会計年度任用））を記入すること。

③【所属長の証明】欄は、現在の勤務校又は令和8年4月1日（水）から受付期間の最終日（令和8年5月15日（金））までの間に所属した直近の勤務校の所属長が作成したものを提出すること。

返信用封筒（詳細はP7「(2) ②返信用封筒」参照）

令和7年度実施岡山市公立学校教員採用候補者選考試験の第1次試験又は第2次試験の結果通知の写し

④ 理科教育推進特別選考

特別選考申告票

①氏名及び特別選考の出願要件を満たす、理数系教員（コア・サイエンス・ティーチャー：CST）養成拠点構築プログラムの履修大学名、履修（予定）期間を記入すること。履修状況は該当するものを「○」で囲むこと。

②出願時に修了見込みの者は、【大学担当者の証明】欄に、現在履修中の大学担当者から証明を受けたものを提出すること。

返信用封筒（詳細はP7「(2) ②返信用封筒」参照）

「理数系教員養成拠点構築プログラム」の修了証書又は認定証の写し（修了した者のみ）

⑤ 大学等推薦特別選考

〈出願者本人が準備し提出するもの〉

特別選考申告票

※氏名及び大学又は大学院名等・学部・学科（研究科等）、取得（見込）免許状、卒業・修了見込年月日を記入すること。卒業見込・修了見込のいずれか該当するものを「○」で囲むこと。

返信用封筒（詳細はP 7 「(2) ②返信用封筒」参照。出願者本人に第1次試験の結果を通知するために使用する。）

〈大学等が準備し提出するもの〉

・成績証明書

・推薦書

・返信用封筒（大学に結果を通知するために使用する。）

⑥ 「令和7年度実施大学3年生等特別選考」選考通過者特別選考

特別選考申告票

※令和7年度実施の受験区分、教科（中学校のみ）、受験番号を記入すること。

返信用封筒（詳細はP 7 「(2) ②返信用封筒」参照）

令和7年度実施岡山市公立学校教員採用候補者選考試験の結果通知の写し

身体に障害のある者を対象とした選考

返信用封筒（詳細はP 7 「(2) ②返信用封筒」参照）

身体障害者手帳（障害の程度が1級から6級までの者）の写し

(3) 申請後に必要な準備・確認

- ①岡山市電子申請サービスによる申込後、「**申込完了メール**」が登録したメールアドレスに届く。届かない場合は申込みが完了していない可能性があるため、教職員課に電話で確認すること。
- ②申請した内容に不備等があった場合、「**修正依頼メール**」が登録したメールアドレスに届く。受信状況を随時確認すること。
- ③不備がなければ一週間程度で「**出願受理メール**」が登録したメールアドレスに届く。受信状況を随時確認すること。
※「**出願受理メール**」が届いても、特別選考が決定されたわけではない。書類審査の結果については、受験票送付の際に通知する。特別選考の対象にならなかった者は、一般選考の出願者として受け付ける。
※「**出願受理メール**」が届いた後でも、記載内容に疑義がある場合は、教職員課より連絡することがある。
- ④受験票の印刷（試験当日に全員持参すること）
 - ・令和8年6月5日（金）頃に登録されたメールアドレス宛に「受験票の発行通知」を送付する。令和8年6月12日（金）までにメールが届かない場合は教職員課まで連絡すること。
 - ・受験票をダウンロードし、A4サイズの白紙にカラーで印刷し、試験当日に持参すること。
- ⑤一般選考及び大学3年生等特別選考で出願する者は返信用封筒を作成し、試験当日に持参すること。（P 7 「(2) ②返信用封筒」参照）

6 選考試験の日程・内容及び会場等

(1) 第1次試験

①試験日程・内容・会場等

実施日	時間	内容	会場
7月4日(土)	10:30~	教科等専門試験(100点・60分間)	岡山市立岡山後楽館中学校・高等学校他 ※1
7月5日(日) 7月11日(土) 7月12日(日)	※2	個人面接	岡山市立岡山後楽館中学校・高等学校

※1 教科等専門試験の会場は、出願者の人数により変更になる場合があるため、受験票に記載された会場を確認すること。

※2 個人面接の詳細は、6月下旬頃に教職員課ホームページに掲載するとともに、教科等専門試験の試験会場に掲示する。

②教科等専門試験当日の携行品

受験票(詳細はP9「(3)④受験票の印刷」参照) 返信用封筒(詳細はP7「(2)②返信用封筒」参照)

筆記用具 消しゴム 定規 上履き 下履きを入れる袋

※服装は、すべての試験でクールビズ(上着、ネクタイ等を着用する必要はない。)とする。

下記の表に該当する者は、以下の携行品も準備する。

対象者	携行品
中学校の「数学」受験者	<input type="checkbox"/> コンパス
中学校の「技術」受験者	<input type="checkbox"/> 三角定規(目盛りの付いたもの一組)、コンパス
「身体に障害のある者を対象とした選考」の受験者	<input type="checkbox"/> 身体障害者手帳(原本)

③個人面接当日の携行品

受験票(詳細はP9「(3)④受験票の印刷」参照)

筆記用具 消しゴム 上履き 下履きを入れる袋

※服装は、すべての試験でクールビズ(上着、ネクタイ等を着用する必要はない。)とする。

④特別面接の試験日程・内容・会場等

実施日	時間	内容	会場
7月4日(土)	13:00~	特別面接	岡山市立岡山後楽館中学校・高等学校

※特別面接の時間は、6月下旬頃に教職員課ホームページに掲載する。

⑤特別面接当日の携行品

受験票(詳細はP9「(3)④受験票の印刷」参照)

筆記用具 消しゴム 上履き 下履きを入れる袋

※服装は、すべての試験でクールビズ(上着、ネクタイ等を着用する必要はない。)とする。

(2) 第2次試験

第2次試験の受験資格を得た者が受験する。

①試験日程・内容・会場等

実施日	内容	受験区分	会場
8月8日(土)	集団活動	すべての区分	岡山市立 岡山後楽館中学校・高等学校
}	個人面接	すべての区分	
8月10日(月)	実技	中学校(音楽・美術・保健体育・技術・家庭)	岡山市立桑田中学校
8月15日(土)	模擬授業・口頭試問	小学校(すべての枠)	
}		中学校(すべての枠)	
8月17日(月)	模擬場面指導・口頭試問	栄養教諭 養護教諭	

※個人面接、実技、模擬授業(模擬場面指導)・口頭試問の日程及び会場は、8月上旬頃に教職員課ホームページに掲載する。

※上記の試験とは別に、テーマに沿った課題作文を実施(10分間・字数制限なし)

②第2次試験当日の携行品

- 受験票（詳細はP9「(3) ④受験票の印刷」参照）
- 返信用封筒（事前に送付していない場合は必要。詳細はP7「(2) ②返信用封筒」参照）
- 筆記用具 消しゴム 上履き 下履きを入れる袋

※服装は、すべての試験でクールビズ（上着、ネクタイ等を着用する必要はない。）とする。

※実技試験がある者は、次に示す「③実技内容等」で携行品を確認する。

③実技内容等

受験区分	教科	内容及び携行品
中学校	音楽	「ピアノによる弾き歌い」 中学校学習指導要領に示された歌唱共通教材のうち、当日指示する1曲を、前奏付きで2番まで演奏する。 ※当日、楽譜が必要な者は各自持参する。移調も可。 「アルトリコーダーによる新曲視奏」 【携行品】 <input type="checkbox"/> アルトリコーダー
	美術	「描く活動」 「つくる活動」 【携行品】 <input type="checkbox"/> 水彩絵の具（ポスターカラー・アクリル系絵の具も可） <input type="checkbox"/> パレット <input type="checkbox"/> 筆 <input type="checkbox"/> 筆洗 <input type="checkbox"/> 定規 <input type="checkbox"/> コンパス <input type="checkbox"/> はさみ <input type="checkbox"/> カッターナイフ <input type="checkbox"/> デッサン用鉛筆 <input type="checkbox"/> 練りゴム又は消しゴム <input type="checkbox"/> 筆ふき用の布 <input type="checkbox"/> マスキングテープ <input type="checkbox"/> 作業のできる服装
	保健 体育	「器械運動」 「球技」 「ダンス」 「武道」（柔道、剣道のいずれか1種目を出願時に選択） 【携行品】 <input type="checkbox"/> 体育実技のできる服装、体育館用シューズ（上履きとは別のもの） <input type="checkbox"/> 柔道着（「武道」で柔道を選択した者）
	技術	「製品の製作」 【携行品】 <input type="checkbox"/> 作業のできる服装
	家庭	「調理」 【携行品】 <input type="checkbox"/> 調理のできる服装

※中学校（小中連携推進枠、特別支援教育推進枠を含む。）においては、出願した教科の実技試験を受験すること。

(3) その他

- ・受験者が試験日時の変更をすることはできない。
- ・携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末など、試験での携行を指定していない機器を試験中に着用又は使用しないこと。
- ・試験会場への自家用車の乗り入れは禁止とする。また、**試験会場周辺への自家用車での送迎は厳に慎むこと。**
- ・受験すべき試験を一つでも受験しなかった場合は、その後に実施される試験を受験することはできない。
- ・採用候補者選考試験中の負傷や疾病については、応急処置は行うが、原則として受験者の自己責任で対応すること。
- ・台風等により、やむを得ず試験日程等を変更する場合は、**出願時に登録したメールアドレスに届くので各自確認すること。**
- ・身体に障害のある者を対象とした選考については、すべての試験において、障害の種類・程度に応じた受験上の配慮を行う。

7 選考方法等

(1) 第1次試験

①選考の方法

教科等専門試験、個人面接、特別面接及び提出された各種資料（受験願書、特別選考申告票等）を基に、「加点に関する事項」（P 6 参照）、「考慮する事項」（P 6 参照）を踏まえて総合的に選考する。

②主な評価の観点

(ア) 個人面接

「コミュニケーション能力」「社会性、協調性」「主体性」

(イ) 特別面接

「コミュニケーション能力」「意欲的態度、使命感」「教育的愛情、向上心」「社会性、協調性」

(2) 第2次試験

①選考の方法

集団活動、個人面接、実技、模擬授業（模擬場面指導）・口頭試問及び提出された各種資料（受験願書、課題作文、特別選考申告票等）を基に、「考慮する事項」（P 6 参照）を踏まえて総合的に選考する。

②主な評価の観点

(ア) 集団活動及び個人面接

「コミュニケーション能力」「意欲的態度、使命感」「教育的愛情、向上心」「社会性、協調性」

(イ) 実技

（音楽）「技能及び表現力」 （技術）「技能及び工夫し創造する能力」 （保健体育）「技能の習得状況」

（美術）「技能及び表現力」 （家庭）「技能及び工夫し創造する能力」

(ウ) 模擬授業（模擬場面指導）・口頭試問

「教科指導（保健指導）に関する知識・技能の保有」「児童・生徒の理解」「柔軟性」「コミュニケーション能力」「教育的愛情、向上心」

8 選考結果の通知・情報提供

(1) 結果通知

第1次試験 令和8年7月30日（木）

第2次試験 令和8年9月11日（金）

○採用候補者名簿に登録された者は、原則として令和9年4月1日付けで採用する。

○採用候補者名簿登録の有効期間は、令和10年3月31日までとする。

※教職員課のホームページに、第2次試験の受験資格を得た者、採用候補者名簿に登録された者の受験番号を掲載する。（掲載期間は、結果通知日から10日間とする。）

※第1次試験、第2次試験ともに、選考結果に関する問い合わせには一切応じない。

※郵便局による保管期間が過ぎ、教職員課へ返送された結果通知については、結果通知日から3ヶ月間保管するので、結果の受取りを希望する者は、その旨を申し出ること。なお、3ヶ月を過ぎたものについては廃棄する。

※完全受験しなかった受験者にも、返信用封筒が提出されている場合には、結果を送付する。

(2) 選考結果の情報提供

時 期	対 象	内 容
第1次試験の結果通知時	第2次試験の受験資格が得られなかった者	・教科等専門試験の点数及び個人面接の評価段階 ・特別面接の評価段階
第2次試験の結果通知時	第2次試験の受験者	・集団活動、個人面接、実技、模擬授業（模擬場面指導）口頭試問の評価段階

9 採用まで

(1) 採用に関して

- ①採用候補者名簿登録の有効期間は合格発表から令和10年3月31日までとし、原則として令和9年4月1日付けで採用とするが、場合によってはそれ以前に採用することもある。
- ②採用後、1年間は条件付き採用となっており、この期間に職務を良好な成績で遂行したときにはじめて「正式採用」となる。
- ③採用候補者名簿に登録されても、次のいずれかに該当する場合には、採用候補者名簿から抹消する。
 - (ア) 令和8年度実施岡山市公立学校教員採用候補者選考試験の受験資格を欠いていることが判明した場合
 - (イ) 教員としてふさわしくない事実が判明した場合
 - (ウ) 令和9年4月1日時点で、所有している教諭普通免許状が失効している場合
 - (エ) 「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」第2条第8項に規定する「特定性犯罪事実該当者（P1参照）」であることが確認された場合
- ④日本国籍を有しない者を採用する場合には、任用の期限を付さない常勤の講師とする。任用の期限を付さない常勤の講師の給与、休暇、福利厚生、研修等の制度は、教諭と同様であるが、校務の運営に参画する職や業務に就くことはできない。
- ⑤勤務校は岡山市立の小学校、中学校及び義務教育学校のいずれかとする。ただし、将来、人事異動により、小学校、中学校、義務教育学校及び高等学校等の間で、異動する場合がある。

(2) 大学院又は教職大学院（以下「大学院等」という。）在学者及び大学院等進学予定者に対する特例

採用候補者名簿に登録された者のうち、大学院等在学者及び大学院等進学予定の大学4年生が、大学院等への修学の継続又は進学を希望する場合、以下の①、②のすべての要件に該当することを条件に、本人が岡山市教育委員会に申し出を行い、許可を受けた者に限り、採用候補者名簿登録の有効期間を延長することができる。

- ①令和8年度実施岡山市公立学校教員採用候補者選考試験で**採用候補者名簿に登録された校種、教科と同じ校種、教科（小中連携推進枠の採用候補者は小学校、中学校両方）の専修免許状を取得すること。**
- ②延長する採用候補者名簿登録期間内に大学院修士課程又は教職大学院専門職学位課程を修了し、専修免許状を取得すること。

【延長期間について】

修業年限を限度として、大学院等進学者は2年間、大学院等修学継続者は1年間（修業年限が3年制の大学院等1年生の場合は2年間）とする。また、4年生で大学院1年生の科目を履修している者等の中で、大学卒業後、1年で修士の学位を取得し、今年度実施の採用試験に合格した場合、1年間の延長が可能。

(3) 採用までの流れ

- ①回答書や基本事項届出書等の提出（**令和8年9月11日（金）送付予定**）
採用候補者名簿に登録された者には、結果通知とともに、回答書や基本事項届出書等の書類が送付されるので、指定された期日までに提出すること。
- ②新規採用教職員説明会及び面接等の案内送付（**令和9年1月中旬～下旬送付予定**）
採用候補者名簿に登録された者には、3月中旬から下旬に行われる新規採用者教職員説明会の案内に関する回答書等が送付されるので、指定された期日までに郵送または持参すること。
- ③給与等に関する書類の作成（**令和9年2月下旬送付予定**）
採用候補者名簿に登録された者には、2月下旬に教育給与課から書類が送付されるので、各自記入し、3月中旬から下旬に行われる新規採用者教職員説明会及び面接の際に、持参すること。
- ④新規採用者教職員説明会及び面接（**令和9年3月中旬～下旬**）
採用に関する確認や面接を行うため、必ず参加すること。その際、卒業証書や免許状等の原本を用意すること。

10 その他

【過去3年間の試験問題の公開について】

- 第1次試験については、岡山市役所本庁舎2階情報公開室において、筆記試験の問題と解答の閲覧及びコピー（有料）をすることが可能。ただし、今年度実施分は、令和8年7月17日（金）より公開する。
- 第2次試験については、岡山市役所本庁舎2階情報公開室において、集団活動のテーマを閲覧及びコピー（有料）をすることが可能。ただし、今年度実施分は、令和8年8月28日（金）より公開する。

【給与について】

令和8年4月1日現在の給料月額、次のとおり。（*）は養護教諭・栄養教諭の給料月額

大学新卒	短大新卒
299,904円（*297,404円） 内訳：基本給 270,700円 地域手当 11,369円 教職調整額 13,535円 義務教育等教員特別手当 1,800円 初任給調整手当 2,500円（小学校教諭、中学校教諭）	276,008円（*273,508円） 内訳：基本給 249,000円 地域手当 10,458円 教職調整額 12,450円 義務教育等教員特別手当 1,600円 初任給調整手当 2,500円（小学校教諭、中学校教諭）

※勤務状況等によって、期末・勤勉手当、通勤手当、住居手当、扶養手当等が支給される。

※小学校教諭、中学校教諭は、採用後5年間、初任給調整手当が毎月支給される。

※学級担任（特別支援学級を除く）には、学級担任手当が別途支給される。

※特別支援学級の担任には、給料の調整額が別途支給される。

※給与については、勤務歴等を考慮し、岡山市の基準において、給料を再計算した金額が給与として支給される。

11 試験会場

岡山市立岡山後楽館中学校・高等学校

岡山市北区南方一丁目3番15号

●JR岡山駅東口（後楽園口）から徒歩約15分



岡山市立桑田中学校

岡山市北区東島田町2-3-35

●JR岡山駅東口（後楽園口）から徒歩約15分



※試験会場は出願者の人数等により変更になる場合があるため、受験票や教職員課ホームページで随時確認すること。